

助動詞—must not ～してはならない



You **must not** sleep in class.



You **mustn't** sleep in class.

Point

- ① 「must + not + 動詞の原形」で「～してはならない」という禁止の表現になる。
- ② 「must + not」の短縮形は「mustn't」になる。
- ③ 「must」と「not + 動詞の原形」と考えよう。
「絶対～」と not は後ろを否定→「動詞の原形しない」
→「絶対～しないこと」→「～してはならない」となる。

1. 日本語が表す表現になるように、() 内の語句を並び替えて英文を作ろう。

(1) (must / during / you / talk / not / the test). テスト中に話してはいけません。

(2) (bring / a smartphone / you / mustn't / to school). 学校にスマホを持ってくるのはダメです。

(3) (touch / must / not / we / this / button). 私たちはこのボタンには絶対に触ってはいけません。

(4) (the meeting / must / not / we / be / late / for). 私たちはその会議に遅れてはいけません。

2. 日本語が表す意味になるように、それぞれの英文に must not (mustn't) を付け加えて表現しましょう。

(1) We run in the hallway. 私たちは廊下を走ってはいけません。

(2) You open the window. あなたはその窓を開けてはいけません。

(3) She eats too much chocolate. 彼女はチョコレートを食べすぎてはいけません。

(4) You forget her birthday. あなたは彼女の誕生日を忘れてはいけません。

3. 次の文の () 内に入るのは don't have to か must not のどちらか、適切な方を選びましょう。

(1) You () bring your textbook tomorrow. We won't use it.

(2) We () feed the animals at the zoo. It's against the rules.

(3) We () park here. It's a no-parking zone.

(4) You () bring lunch. We're ordering pizza.